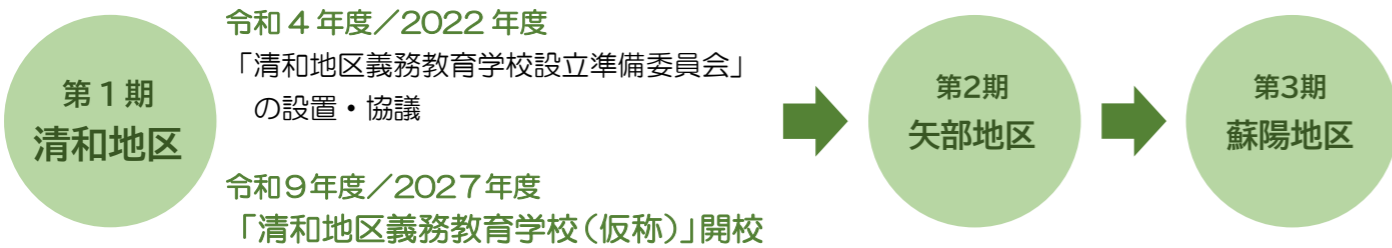
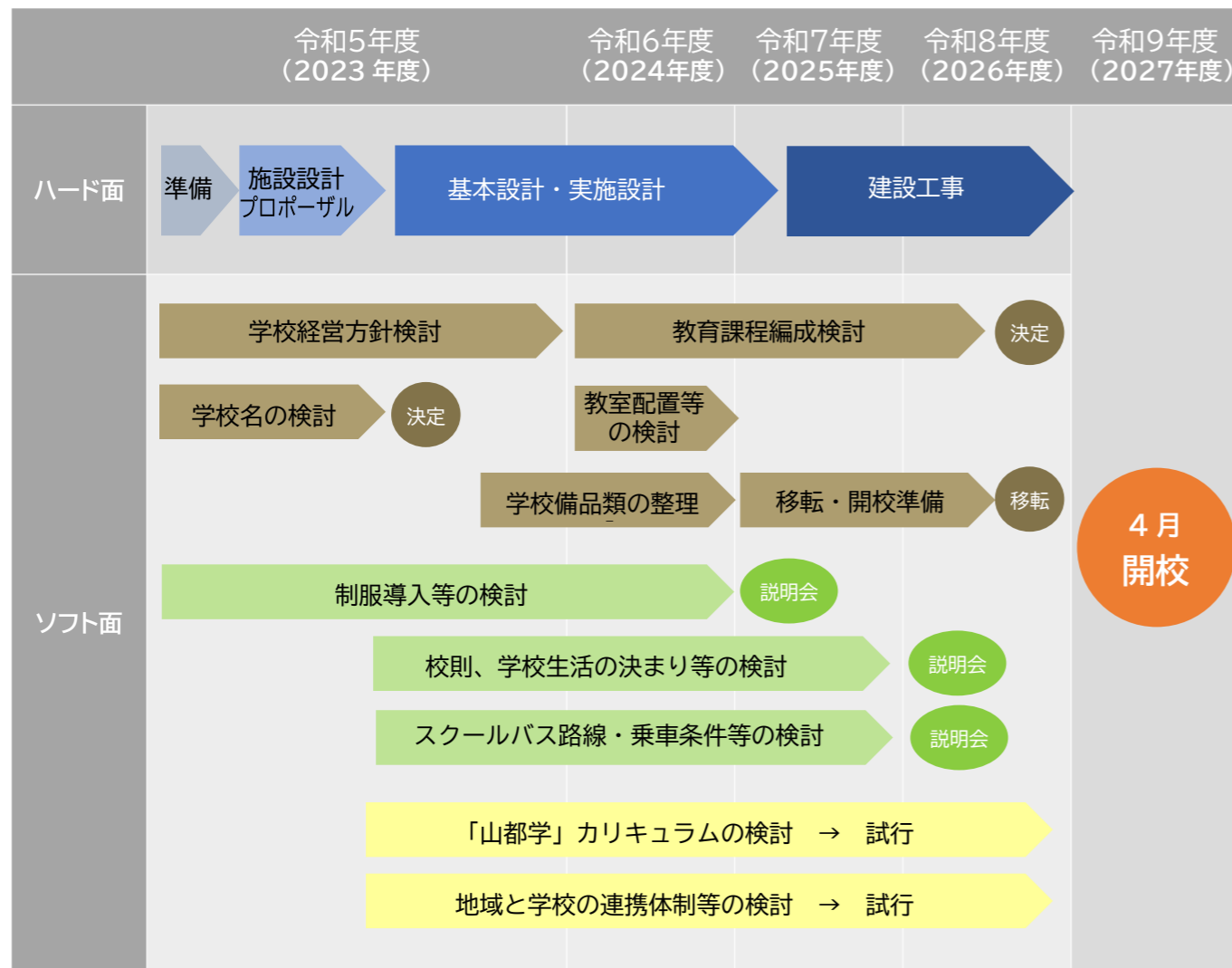


義務教育学校の開校予定時期は以下のとおりです。



清和地区義務教育学校の開設までのスケジュールは以下のように予定しています。



新しい学校では、様々な場面で地域内外の大人も日常的に交流することを想定しています。それは、開校後から始まるのではなく、その準備段階から関係を構築します。新校舎の設計段階では設計者選定プロポーザルの実施及び審査、校歌等の選定などの各種検討課題の話し合いなどを行います。また、建設段階では、使用する木材の地元調達や仕上げ工事等での児童生徒、地域住民の参画などを企画し、新校舎に寄せる住民の期待を高めます。

清和地区義務教育学校 基本構想・基本計画

概要版

山都町では、令和3年度に「山都町学校規模適正化基本方針」を策定し、少子高齢化による町内小・中学校児童・生徒数の減少や校舎等施設の老朽化などの問題に対応するため、3地区(矢部・清和・蘇陽)それぞれの小中学校を統合し、義務教育学校として整備を進めていく方針を定めました。※今後、社会情勢や人口動態等を考慮して、検討していくこととしていきます。

校舎の老朽化が進んでいる清和地区(清和小・清和中)では令和9年度開校を目指し、義務教育学校を開校するための基本構想及び基本計画を策定しました。

新しい学校づくりへの 地域からの期待と要望

意見交換会、アンケート調査より

清和地区義務教育学校開校についての意見や要望を幅広く把握するため、住民説明会・意見交換会での意見交換や保護者、教職員および清和小学校・清和中学校の児童・生徒を対象にアンケート調査を実施しました。新しい学校への期待や施設・設備づくりへの意見を計画に反映させていきます。

現在の教育環境の良いいところを大事に

- 少人数でのきめ細やかな指導・学習環境
- 自然豊かな学習環境
- のびのびとした学校生活
- 地域との良好な関わり、地域の特性を生かした教育

新しい学校の施設・設備で優先させたいこと

- 防災性、防犯性など安全面への配慮
- 主体的に学ぶための学習環境
- ICT機器が十分に活用できる環境
- 教室に入りづらい児童生徒の居場所
(保護者アンケートより)

新しい学校での教育で身につけさせたいこと

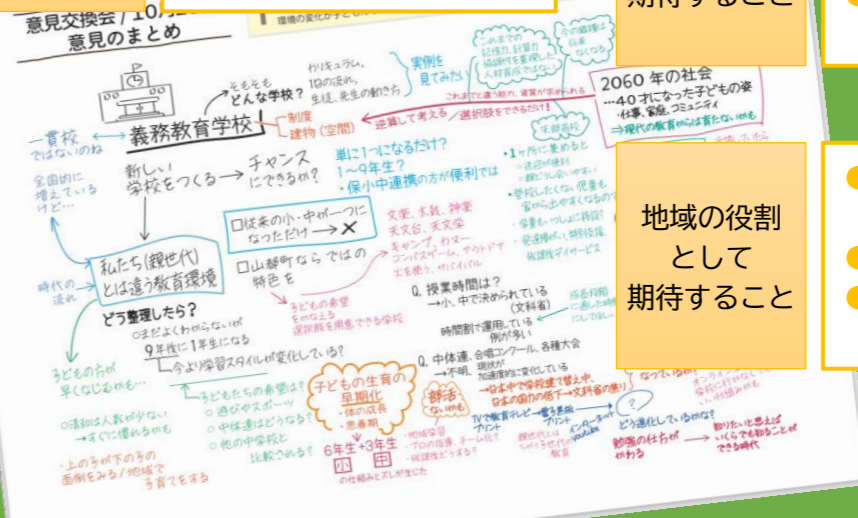
- 学ぶ意欲や積極性
- コミュニケーション能力
- 自己表現力
(保護者、教職員アンケートより)

新しい学校の施設・設備に期待すること

- 黒板を大きく、教室や机を広く
- 図書館や体育館、プールを広く
- 水飲み場、手洗い場を使いやすく
- 情報交換の場や収納スペースを充実
(中学生・小学生アンケート、教職員アンケートより)

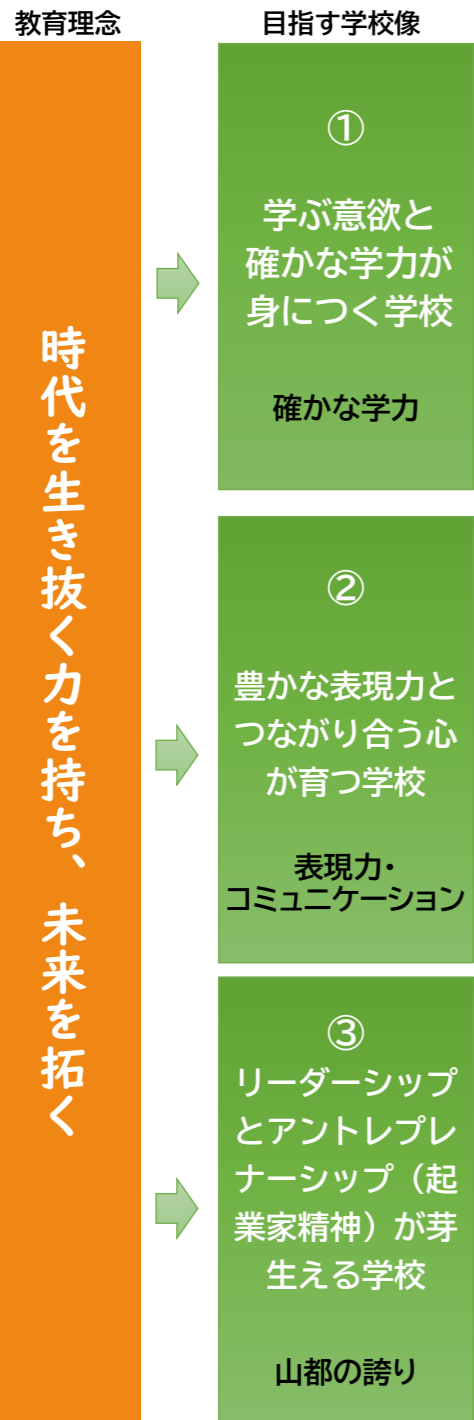
地域の役割として期待すること

- 地域の避難場所としても利用できる防災機能
- 地域コミュニティの活動の場
- 伝統文化継承の場、交流の場
(保護者アンケート、住民説明会意見より)



清和地区義務教育学校の基本方針

教育理念とめざす学校像



清和地区義務教育学校の整備方針

一体型施設とし、学年を超えての交流や連携が図れる空間づくりなど、義務教育学校としての特性を十分に発揮できる施設とします。

<ul style="list-style-type: none"> ICT活用 学び・活動の変化に柔軟に対応できる環境 自主的な学習活動に取り組める環境 学びの場、働く場として、良好な環境条件の確保 防災性、防犯性など安全性を備えた安心感のある環境 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数指導のための空間整備(机、コーナー) 普通教室・特別教室への電子黒板等設置 ミーティングスペース、休憩室設置 屋内運動場に TV・TEL・LAN 配線の整備
<ul style="list-style-type: none"> 多様な学習形態・学習内容による活動環境 年齢の異なる児童・生徒の交流環境 教科指導連携や異学年交流の連携 障害のある児童・生徒と障害のない児童・生徒が共に学ぶことができるような柔軟な環境 ゆとりと潤いをもって学校生活を送ることができる居場所のある環境 	<ul style="list-style-type: none"> グループ学習のための空間整備(可動式の机、移動式ホワイトボード等) 図書室に読書コーナーの設置 発表会が行えるよう、多目的スペースなどの整備 心のゆとりと潤いを育む屋外スペースの確保
<ul style="list-style-type: none"> 地域を学ぶ学習、伝統文化の継承活動や地域交流ができる空間づくり 山都町や清和地区の産業や技術を学べるような環境 環境負荷の低減や自然との共生等を考慮した環境 安全面や防災面について学校と地域が一体となって取り組む環境 	<ul style="list-style-type: none"> 清和文楽を体験するための環境整備 地域住民の活動拠点となるスペースの整備 図書館や体育館、ホール、特別教室などを地域に開放できるような施設整備 木造校舎の建設や学校施設の木質化 備蓄倉庫の整備

施設整備基本計画

【施設規模】

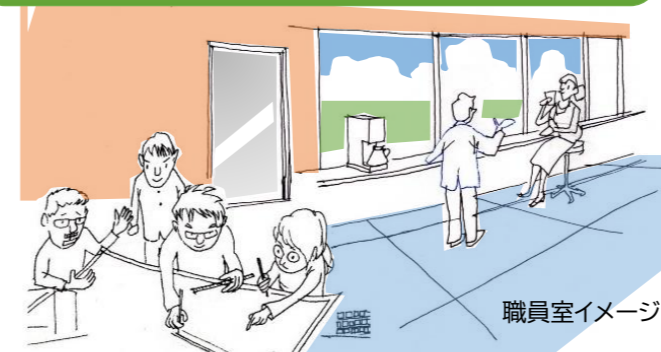
校舎面積 4,600 m²程度、体育館面積 1,500 m²程度を最小限度の施設規模と想定し、新しい義務教育学校として、実現したい地域社会との連携などに必要な空間のアイデアを反映した施設規模とします。

【配置計画等】

新校舎は木造を前提として検討し、可能な限り木造平屋もしくは2階建ての校舎の配置計画とします。敷地内の適切な緑化や木造建築の優しさなどが随所に感じられる景観形成を図り、地域の人々が誇りに思える新しい学校の姿の実現を目指します。

【新校舎に望まれる機能】

① 確かな学力を身につけるための空間づくり



② 表現力・コミュニケーション力を身に着けるための空間づくり

メディアセンター機能を持つ図書スペース
どの教室からも利用しやすいように学校の中心に配置し、自主的・自発的な学習の場とします。



③ 山都の誇りを生み出す空間づくり



地域住民の活動スペース

地域住民が気軽に校内に足を運び、学校運営や文化伝承などの活動に参加するためのスペースを確保します。

清和小学校・清和中学校の現況



清和小学校

【児童数・学級数 (R4年5月1日)】

児童数:91名
学級数:8学級
(通常6、特別支援2)



清和中学校

【生徒数・学級数 (R4年5月1日)】

生徒数:43名
学級数:5学級
(通常3、特別支援2)

清和地区義務教育学校の概要

【形態】

清和小学校と清和中学校が統合した9年制の義務教育学校

【管理職】

校長1名 副校長1名 教頭2名

【児童・生徒数】

児童:83名 生徒:48名 合計:131名 (令和9年度想定)

【教職員数】

管理職:4名 教諭:16名 養護教諭:2名 栄養教諭:1名 事務職員:2名
特別支援学級教諭:3~5名 計:28名程度